



あとがき



2024年のノーベル物理学賞は、人工ニューラルネットワークによる機械学習を可能にした基礎的発見と発明に対する業績で、John J. Hopfield（プリンストン大学、アメリカ）とGeoffrey E. Hinton（トロント大学、カナダ）の両氏が受賞した。核データ分野でも機械学習や深層学習の適用が見られるようになってきた。OpenAI-o1や最近のDeepSeek-R1のようなLLMによる機械学習は、今後我々の社会に浸透することは間違いない。JNSTの論文審査に携わっている身としては、人間が書いた投稿論文か、ChatGPTによるものなのか判断に困ることも予想される。大切なのは心眼というか目利きを研ぎ澄ますことであり、核データニュースに掲載される最新のトピックスを読むことはこの訓練に大いに役立つと思う。

昨年を振り返ると新年早々に起きた能登半島地震の自然災害の影響は今も続いています。末筆ながら、皆様にとって新たな年度が健康で希望に満ちた年になりますよう祈念するとともに、学会賞を受賞された方や新博士の皆様にはぜひ核データニュースへご投稿いただきますようお願い申し上げます。

山野 直樹 2025年1月

日本原子力学会核データ部会
核データニュース編集小委員会

合川 正幸（北大）	岩本 修（原子力機構）
大塚 直彦（委員長、IAEA）	金 政浩（九大）
小浦 寛之（原子力機構）	中村 詔司（原子力機構）
丸山 修平（原子力機構）	山野 直樹（RADONet）